

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆仕事ができる

信頼×協働×改善努力×目的

関係者と信頼関係が出来ていないと、任せられるかな、大丈夫かな、・・・と思われ、どんなにいい仕事をして一緒に仕事する人たちは安心できない。

協働は、共通の目的を目指して異質能力の人たちがベクトル合わせをしながら役割を果たすことである。

改善努力は、いまやっているやり方は理想とは程遠い。全体最適化を考えて自分の担当する作業を仕事・役割を配慮して、理想とのギャップを縮める工夫努力をする。工夫努力は品質・納期・原価について行う。

状況を掴みながら目的を理解して仕事をしないと、やっていることが無駄になったりピン트가外れたモノになる。

◆時代的革新

革新は問題、課題レベルとして我々は捉える。問題や課題解決に取り組むに当たっては、まず問題・課題を解決する必要性を確認あるいは検討しなければならない。このステージをBSOでは「目的分析」という。この目的分析をちゃんとやらないと、この後の仕事や作業のピン트가外れ台無しになる。

目的分析は、目的の機能を上位下位に展開する。どのレベルを目的とするかを考え、その目的を果たすための問題・課題として捉える。

問題・課題を解くに当たって現代では、直接関係はないが配慮しておかなければならないことが少なくない。この作業を「問題・課題に関連する取り巻き構造」と捉え、BSOでは「問題・課題の構造化」と呼んでいる。構造化した要素は仕事・作業レベルよりも概念レベルの場合が多く、現代は、我々が設定した問題・課題と関連付けて仕事・作業レベルを検討しなければなくなっている。この検討をしないと、偏ったり狭い解決案を導き出すことになり兼ねず、結局は役に立たない作業をすることになる。

◆BSOベトナム工科大学卒の研究員

今冬から順次戦線に加わります。ご期待ください。

◆ベトナム高度人材受入事業は6期目に入りました

どのように探るか日本企業で活躍できるよう如何に育てるか。挑戦してみませんか。

◆秋期BSOの研究会～9月より新しい研究会がスタートします～

ビジネスマッチング研究会が9月に始まりました。これから新しい部会が増えて行きます。有人営業力パワーアップ研究会も9月から始まります。

10月、C21/PT（プロフェッショナル・トップ研究会）が新年度に入ります。霧研は秋参加組が3名加わるようになりました。IoT研究会は10月より1期生後期、2期生前期が始まります。

ご興味のある方は要綱をお送りいたしますので、お問い合わせください！！

◆正副の研究

昔、企業のNo.1とNo.2について書かれた本があった。BSOも昔から関心を持っている課題である。

No.1が技術系ならNo.2は事務系で行く。No.2は所詮No.2でありNo.1とNo.2はニコイチである。終えるときはNo.1と一緒に退きたい。

◆気付きは人間の専任事項

気付きはこれからの時代の人間の重要な要件の一つになる。気付きと実践力のある人材・人財は貴重な存在になる。

記憶は機械や道具、コンピュータなどに任せられるが、初めての気付きは人間固有の役割の一つと思う。

しかし、二回目の同じ気付きは、状況とセットにして記憶出来る機能に保存し状況を自動検索出来るようにしておく、その気付きはもはや人間の専有物ではなくなる。

◆地域社会の歴史的格差

西欧は高度成長が終わり経済の低迷と世界的戦争からの回避を模索し続けている。

ロシアは高度成長を模索する。東南アジアは高度成長期に入る。ベトナム社会は創設期が終わり、次の世代がこれからの成長期を担当する。中国は高度成長期の最終段階にある。インドは近代化を模索する。アフリカは日本の戦国時代だろうか。

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動（受託事業・企画事業・出版事業）のタイムリーな情報をいち早く多くの方々に知っていただく為に発信しております。（お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで）